

世界はひとつ

(公財) 岐阜県国際交流センター (略称 GIC) 発行
国際交流・多文化共生情報誌
GIFU INTERNATIONAL CENTER

2023年2月 155号

© 岐阜県 清流の国ぎふ・ミナモト # 0195



第1回岐阜県人世界大会

10月29日(土)と10月30日(日)の両日、国内外の岐阜県人が集う、「第1回岐阜県人世界大会」が岐阜市のOKBふれあい会館・サラマンカホールで開催され、29日の記念式典には、各国から約600人もの方々が登場されました。

本大会は国内を含めた17か国26県人会からなる「岐阜県人会インターナショナル」(GKI)が主催し、世界各地から岐阜県人会が集まる初めての企画となりました。

29日に開催された記念式典では、日本三大盆祭りのひとつであり、昨年ユネスコ無形文化遺産に登録された「郡上踊り」を皮切りに、岐阜市出身でグラミー賞2度受賞したトランペッター「大野俊三」さんの演奏や美濃市出身の講師「神田京子」さん、羽島市出身のピアノ演奏者「後藤雄也」さん、垂井町出身の箏演奏者「鹿野竜靖」さんの三人が協演を行い、岐阜から世界に飛び出した先人たちを講談風に紹介され、岐阜県の「魅力」と「誇り」が多く盛り込まれた式典となりました。

また、GKIと岐阜県が県産品の海外展開に向けて協力する覚書を締結するなど、「岐阜県と県人会とのネットワークの強化」、「岐阜の魅力の発信」、「若者育成」の3つを誓った大会宣言で式典は締めくくられました。

30日は県産品展示・販売や加盟県人会の紹介、岐阜県文化体験ワークショップ、青年海外遊学支援プレゼンコンテストなどが開かれ、多くの方が交流イベントを楽しみました。



▲県産品の海外展開に関する県とGKIとの覚書締結

GKI体験交流バスツアー

「第1回岐阜県人世界大会」終了後の10月31日(月)から11月2日(水)までの3日間、岐阜県内を視察し、県人会の方々から岐阜県の魅力について触れていただく「体験交流バスツアー」を実施しました。

1日目は関市の「日本刀鍛錬」や美濃市の「うだつの上がる町並み」を見学した後、「美濃和紙の紙漉き」を体験しました。参加者はそれぞれ、日本刀鍛錬では高温で熱された鉄を大槌で叩いたり、紙漉き体験では、世界で一枚だけの自分だけの和紙を作るなど岐阜県の伝統産業について触れていました。



▲新穂高ロープウェイ

また、宿泊先の下呂市では、バスツアー参加者と下呂市で国際交流に携わるの方々との交流会を実施しました。グループ形式で交流会を行い、自己紹介や岐阜県で印象に残った場所などについて意見交換を行うなど、交流を深めました。

2日目は岐阜県を代表する観光スポットである世界遺産「白川郷」を訪れ、その地域の人々の生活様式など学びました。また、新穂高ロープウェイではあいにくの天気でしたが、山頂に向かう景色からは紅葉した山々が一面に広がり、展望台から見える北アルプスの山頂には雪が降り、自国では見たこともない景色に県人会の方々には胸を高鳴らせていました。

3日目の郡上市では、「郡上踊り体験」をしました。ツアーに参加した県人会の方はブラジル出身の方が多く、サンバなどの踊りが好きなことからみなさん真剣かつ楽しそうに郡上踊りを学んでいました。



▲郡上踊り体験

3日間のバスツアーを終え、参加された県人会の方々には岐阜県の「産業」・「自然」・「伝統」に触れることができ、大変満足した様子でした。今後もこのような交流の機会を増やしていくことで、ますます岐阜県と県人会の連携が高まっていくこととなるでしょう。

外国人の子どものリモート学習支援講座

にゅうもんへん
入門編

岐阜県の外国人児童生徒数は約3,200名と年々増加傾向で、半数以上は日本語指導が必要とされているなか、新型コロナウイルスの影響で対面での学習支援活動の自粛が求められ、オンラインによる支援の必要性が高まっています。

当センターでは、ウィズコロナ、アフターコロナにおいても、外国人児童生徒らがリモートで日本語及び教科学習ができるよう、学習支援者向けに、下記のとおりリモート学習支援講座を実施しました。

日時：令和4年9月25日(日)、10月2日(日)、9日(日) 10:00~12:00、
10月16日(日) 10:00~16:00

場所：多文化共生センターフレビア(可児市)

参加者：外国人の子どもの日本語支援に興味がある方 延べ58名

内容：第1回 学校外の外国につながる子どもの支援、
リモート授業の振り返り

第2回 Microsoft Teamsの操作方法

第3回 オンラインホワイトボードの操作方法、教材の活用方法

第4回 オンライン教材の作成、教室での活動体験、意見交換会

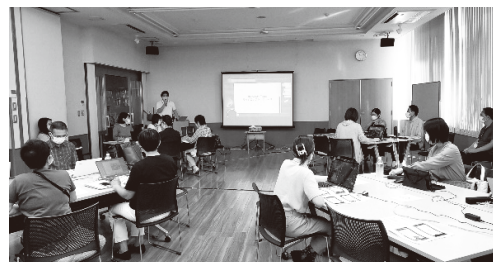
講師：(特非)可児市国際交流協会

事務局長 各務 眞弓氏

さつき・かがやき教室コーディネーター 岡田 守弘氏

きぼう教室コーディネーター 善本 安子氏、バグシカン・カ ril 氏

可児市教育委員会教育研究所 指導主事 杉本 和昭氏



ぜんたい ようす
全体の様子



じぶん つか そうきかくん
自分のPCを使って操作確認

医療通訳ボランティア研修

当センターでは、日本語が不自由な外国人の方が安心して医療機関を受診することができるよう、県内の医療機関からの依頼に応じて一定レベル以上の知識及び技術を持った医療通訳ボランティア(言語は、ポルトガル語、中国語、タガログ語及びベトナム語)を斡旋する『岐阜県医療通訳ボランティア斡旋事業』を運営しています。

下記3日間の研修を通して、医療通訳ボランティアとして活動する方のスキルアップと新たなボランティアの育成を図るため、オンラインで医療通訳ボランティア研修を開催しました。専門知識やプライバシーの点から一般的なボランティア活動との違いも多いため、どのような心構えやスキルが必要となるか、特定非営利活動法人多文化共生センターきょうとの重野亜久里氏と高嶋愛里氏にご講義いただきました。

【講義】 会場 : Zoom

1日目 10月22日(土) 10:30~12:00, 13:00~14:30

前半は医療通訳者の役割や日本の医療制度、通訳する場面と内容について、その特徴や注意点を病院での受診の流れに沿って、わかりやすく説明いただきました。

2日目 10月29日(土) 10:00~12:30

身体の各器官の名称、感染症に関する専門知識をクイズ形式で学び、参加者は頭を悩ませながらも、医療通訳に必要な通訳技術について積極的に質問していました。

【ロールプレイ通訳実習】 会場 : Zoom

3日目 11月5日(土) 10:00~12:00

グループに分かれて診察室での医師と患者の会話を通訳するロールプレイ実習を行い、「内科外来」「脳神経外科」「整形外科」を想定したシナリオを使って医療通訳業務における手順やポイント、とるべき対応について、実習をしながら確認しました。



©岐阜県 清流の国ぎふ・ミナモ #0195

多文化共生のための日本語講座

2022年10月12日から2022年11月16日(毎週水曜日の18:30~19:45)まで、「多文化共生のための日本語講座」をZoomで開催しました。今回の講座は岐阜県在住・在勤ベトナム人を対象として、日常会話でよく使われている表現等の基礎を固めてもらったうえで、自信をもって、やさしい日本語で情報確認や物事・自分の事情説明等ができることを目指しました。ベトナム出身講師であるため、受講者は母語や日本語で交流して、日本語学習の意欲を持たせ、日本文化の理解を深めていけたと思います。本講座には郡上に住むベトナム人実習生、ベトナム人大学生、ベトナム人はいくしゃの4名に参加していただきました。講座については、受講者の満足度が非常に高く、また勉強し続けたいと好評でした。



下記は本講座のプログラムです。次回はより多くのベトナムの方々のご参加をお待ちしております。

- 1回目：挨拶、自己紹介、自分の職場、業務内容について話す
- 2回目：簡単に看板等を読み、物事を説明する
- 3回目：情報確認の仕方、依頼の言い方
- 4回目：許可を求める言い方
- 5回目：自分の事情や起こったことを説明する
- 6回目：講座等についての感想の言い方、これからやりたいことについて話す

イギリスの紅茶文化についてご存知でしょうか？

当センターで、イギリス出身の国際交流員が多文化共生のための2回の「イギリスティーパーティー」を開催しました。実は、日本とイギリスの似ている文化は、茶の文化です。日本では茶道やお茶、抹茶の習慣が豊かですが、イギリスには紅茶、アフタヌーンティーやクリームティーといった習慣が見られます。紅茶は1650年に初めてイギリスに入ってきました。最初はあまり人気ではなかったのですが、1662年に王様チャールズ2世がポルトガル人キャサリン・オブ・ブラガンザと結婚し、キャサリン女王は紅茶を流行させました。それで、イギリスの上流階級のあいだに、紅茶が普及しました。徐々に一般人のあいだにも広がり、18世紀の中頃、イギリスで一番人気のある飲み物になりました。現在、イギリスは世界で3番目に紅茶を消費している国です。

当センターのティーパーティーの中で、イギリスについての紅茶の歴史と文化を紹介して、喫茶店で使う英語も一緒に学びました。その後、コロナウィルス感染防止対策を徹底しながら、ティーセットを使って一緒に5種類の紅茶を飲みながら、イギリスのスコットランド製のショートブレッドクッキーを食べました。参加者に、一番人気のあった紅茶はイギリスで最も人気のある、イングリッシュブレックファーストティーでした。



参加者の感想は以下のとおりです。

- 話がよくまとまっていて分かりやすかった。
- 紅茶の知識が増えていった、先生の英語がきれいだった。
- イギリスの紅茶文化が歴史的に説明があり良かった。
- 先生が素晴らしく答えていらっしゃる姿が良かった。
- 紅茶がとってもおいしかった！
- イギリスの紅茶の歴史を振り返りながら、美味しい紅茶と会話を楽しむことができた。

ねん がつ ついたち
2022年10月1日から
 じてんしゃ か
自転車のルールが変わりました



○ **じてんしゃほけん かなら かにゆう ひつよう**
自転車保険に必ず加入する必要があります

- **損害賠償責任保険に入りましょう。**
 - **以下の保険は、自転車の加害事故による損害賠償に対応しています**
- PTAや学校が窓口の保険、小・中学生総合保障制度、高校生総合保障制度、全国高P連賠償責任補償制度。
 自動車の任意保険に特約を付けるものなどもあります。
- **自転車に「TSマーク」がある場合、点検日から1年以内は損害賠償に対応しています。** ※1年を超えている場合、対応していません。

こうがくそんがいはいしょうじれい
こんな高額損害賠償事例がありました

坂道を下ってきた小学5年生の自転車が歩行中の女性と正面衝突...
 歩行者の女性は意識が戻らない重症を負いました。

監督責任を問われた保護者に約9,500万円の支払い命令が出されました。

かぞく ほけん
家族の保険も
 かくにん
確認しよう

○ **ヘルメットを着用してください (努力義務)**



ヘルメットを着用していれば
助かる命があります



こうつう
交通ルールと
 まも
マナーを守って
 あんぜんりよう
安全利用しましょう

【お問い合わせ先】

岐阜県 環境生活部 県民生活課 TEL: 058-272-1111(内線2391) FAX: 058-278-2889

岐阜県在住外国人相談センター TEL:058-263-8066 14言語に対応できます



Close up!

けんない かつやく
 県内で活躍する
 だんたいしやうかい
 団体紹介

たかやま

ゆうこうきやうかい

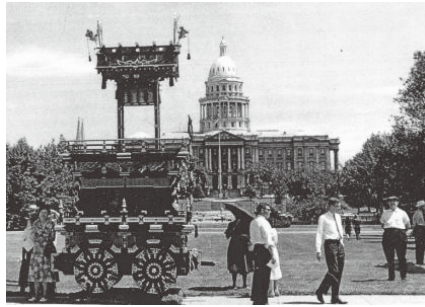
高山・デンバー友好協会

高山・デンバー友好協会は、高山市とデンバー市(アメリカ・コロラド州)と両市の市民相互交流の窓口を主な目的として設立されました。両市は昭和35(1960)年に姉妹都市提携を結び、令和2(2020)年に提携60周年を迎えました。これまで2000人以上の公式訪問団や高校生の相互派遣、文化や医療など多分野で交流を深めてきています。

デンバー市には、交流の証として高山市から寄贈した高山祭の屋台模型「絆臺(きずなたい)」(実物の3分の2スケール)があります。提携60周年記念事業の際、高山市内の工業高校の生徒が渡航し、現地の方々と共に協力して修繕をしました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ここ数年はオンラインでの交流が続いていましたが、今年10月には3年ぶりにデンバーからの訪問団を受け入れることができました。訪問団は「デンバー高山姉妹都市委員会」のメンバー12人で、以前から親交のある参加者もいらっしゃいました。一行は高山の古い町並を散策し、着物着付けや茶道体験、金箔貼りなど日本文化に触れていただきました。高山市長や当協会のメンバーとも交流会を行い、より一層の絆を確かめ合うことができました。今後も、両市の市民交流を深めるべく努力してまいります。

せつりつ しやうわ ねん
 設立：昭和52(1977)年



1964年 デンバー市



2019年 屋台「絆臺」修繕



ゆうこう おか たかやまし
 友好の丘(高山市)



デンバー訪問団(高山陣屋)

JICA岐阜県デスクからのお知らせ

JICA海外協力隊が見た世界 ~思い出の一枚の写真~



エピソード

なまえ きたずみ はじめ
お名前：北住 基
 いしのかみ ちき ぎふけんなかつがわし
出身地：岐阜県中津川市
 はけん きかん
派遣期間
 ねん がつ
 2018年6月～
 ねん がつ
 2018年12月
 はけんこく
派遣国：ガイアナ共和国
 しやく しゆ
職種：再生可能・省エネルギー

南アメリカ大陸の最北に位置する、カリブ海文化の影響を受けるガイアナは、この大陸で唯一英語を公用語とする、人口約80万人、日本の本州ぐらいの面積の独立国家です。日本との交流は少なく、日本大使館やJICAの事務所は、この国にはありません。もともとイギリスの植民地で、奴隷などとしてやって来た人々が、サトウキビの栽培や鉱物の採掘などに従事した歴史があります。私は、ガイアナ電力公社に会い、太陽光発電などの指導をしました。ガイアナの発電は、その熱源のほとんどを重油などの石油製品の輸入に頼っているため、国産の安価で、地球環境にも優しいエネルギー源を使った太陽光発電などの導入が、期待されていました。写真は、派遣中に行った「太陽光発電技術講座」の最終日に仕事仲間でもある生徒達と一緒に撮った一枚です。インド系やアフリカ系など、いろいろな背景を持つ人々たちとの出会いと日常が、海外協力隊員の喜びの一つです。



しごとなかま
 仕事仲間

～JICA海外協力隊や開発教育・国際理解教育・SDGs、その他国際協力に関して、お気軽にお問い合わせ下さい～
 JICA岐阜県デスク 岐阜県国際協力推進員 吉田文 TEL:058-263-8069 E-mail:jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp

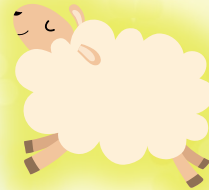
世界の春を のぞいてみよう!

日本の春の行事といえば花見、卒業式に入學式、子どもの健やかな成長を願うひな祭りやこどもの日がありますが、世界の国々ではどんな行事や過ごし方をしているのでしょうか。

●イギリス

日本より少し遅く春が訪れます。3月頃になるとあちこちの公園で白や黄色のラッパ水仙が咲き、日照時間の短いイギリスの冬の終わりを告げ、春の訪れを知らせてくれます。

また、動物達も春を知らせてくれます。4月頃になると農村では子羊の出産ラッシュが始まり、ちょうどその頃イースター（復活祭）を迎えます。お店の棚には新しい始まりを象徴する、いろいろな種類のチョコレートエッグが並びます。



●ベトナム

ベトナムの春はといえば、旧正月です。1月中旬から2月中旬に旧正月「テト」を迎えます。「テト」は一年の中で一番長い連休で、家族が集まる良い機会となっています。「テト」には日本と同じように各家庭でおせち料理を作ります。ちまきを含む7~8種類のメニューがあり、先祖や神様にお供えし、家族みんなでいただきます。また、お年玉文化もあり子どもや収入のないお年寄りにも渡したりします。

●ブラジル

日本に秋が訪れた頃、時差や季節が真逆なブラジルでは春が始まります！南米アメリカの約43%を占めているブラジルは、その広さ故に様々な地形があり、春を楽しめる場所もたくさんあります！中でもサンパウロ州のオンブラ市は「花の街」として知られており、春は一段と美しくなります。オンブラ市の花は有名で毎年国内大会などで優勝しています。他にも特に有名なのは「イグアスの滝」です。雨が多いため、275の滝がこの時期だけ盛大に見えます。この時期は観光客であふれ、入場券もすぐに売り切れてしまいます。

Information

●2023年岐阜県日中友好協会新春のつどい

岐阜県日中友好協会は2023年2月4日、講演と交流会の2部構成で恒例の新春のつどいを開催します。

講演は中国の植林緑化協力事業に携わった元林野庁職員の中川護さんを招き、緑化事業を通じた日中交流を話していただきます。



中川護氏

と き：2023年2月4日(土)午前11時から午後1時30分

と ころ：ホテル・グランヴェール岐山(岐阜市柳ヶ瀬6-14)

参加費：6千円

申込方法：メールにて岐阜県日中友好協会まで

講師：中川 護(中島総合研究所所長、元林野庁職員)

演 題：日中緑化交流の記録

問合せ先：住所：岐阜市南殿町2-10

ホテルスポーツパルク2 階

TEL:058-240-0621

(E-mail:)mdzgj4339@yahoo.co.jp

(HPアドレス:)http://jcfa-gifu.jimdofree.com/

●「ハローギフ・ハローワールド2023」

世界の音楽と踊り、各国の文化・歴史を紹介します！

と き：2023年6月17日(土)

と ころ：みんなの森 ギフメディアコスモス
(岐阜県岐阜市司町40番地5)

問合せ先：岐阜県国際交流団体協議会

住所：岐阜市柳ヶ瀬通1-12岐阜中日ビル2 F

岐阜県国際交流センター内

TEL: 058-214-7703

(E-mail:)giagia200711@yahoo.co.jp



いちき皮膚科

- 診療時間
月・火・木・金・土：9:00~12:00
月・火・木・金：15:30~18:30
- 休診日
土曜午後、水曜、日曜、祝日

〒502-0913
岐阜市東島3-9-13
☎ 058-231-1237




発行・編集

公益財団法人岐阜県国際交流センター (略称GIC)

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2階

電話 058-214-7700 FAX 058-263-8067

E-mail gic@gic.or.jp URL https://www.gic.or.jp

開館案内 開館 日~金曜日 9:30~18:00

休館 土曜日、祝日、年末年始

対応可能言語 英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語

発行日

令和5年2月1日発行(年3回発行 7月、11月、2月)

